



①南谷から発掘された中世の石畳道



②南谷から発掘された石畳



③発掘された石垣



④発掘された堀切



⑤神明神社



⑥鬼ヶ市



⑦女神川から南谷を望む



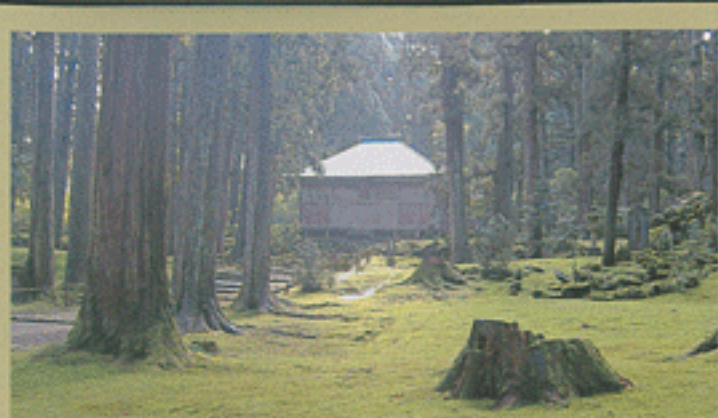
⑧平泉寺集落内



⑨安ヶ市付近



⑩堀口付近の発掘された堀切



平泉寺白山神社

白山国立公園にも含まれる自然景観豊かな境内。杉の古木の中、青苔が絨毯を敷きようにつめたように広がる。



国名勝 旧玄成院庭園

室町時代、細川高国が作庭したとされる回遊式枯山水庭園。



日本の道百選 平泉寺旧参道



平泉寺までのアクセス

○JR福井駅よりえちぜん鉄道勝山駅まで52分
勝山駅からバス・タクシー等で約10~15分
○北陸自動車道福井北I.Cより車で約60分
○東海北陸自動車道白鳥I.Cより車で約70分
発行 勝山市教育委員会
史蹟整備課 ☎0779-88-8113
勝山市のホームページ <http://www.city.katsuyama.fukui.jp>



国史跡 白山平泉寺旧境内



⑪三十三間拜殿跡



⑫楠木正成墓 ⑬三宮と拜殿跡



⑭白山神社二の鳥居付近



⑮奉安大師廟



⑯墓跡



⑰地蔵院建物推定復元図



⑱北谷地蔵院推定地



⑲徳市



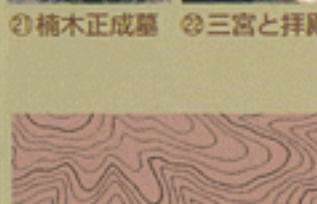
⑳菩提林



㉑史跡エントランス整備地



㉒史跡エントランスの地形模型



㉓白山神社境内



㉔北谷三千四百坊跡



㉕菩提林



㉖平泉寺旧参道



㉗下馬大橋



㉘史跡エントランス整備地



㉙史跡エントランスの地形模型



㉚史跡エントランス整備地

国史跡 白山平泉寺旧境内

霊峰白山（標高2,702 m）の越前側の登拝口に開かれた山林寺院。古代から中世後期にかけては、白山信仰を背景に北陸でも最大規模の宗教勢力を誇り、右の絵図にみるような四十八の社と、三十六の堂塔、六千の僧坊（僧侶の屋敷）が山中に建ちならんだとされる。

しかし、天正2年（1574）に一向一揆の攻撃を受けて全山焼失した。9年後には再興に向かうが、往時の規模には及ばなかった。さらに明治の神仏分離令にさいしては、寺号を廃止し白山神社となった。

近年の発掘調査では、白山神社周辺から中世では国内最大規模となる石畳道や多数の僧坊群がみつかり、巨大な宗教都市といった景観が浮かびあがってきている。



平泉寺上空から望む白山

平泉寺から白山の山頂に向けて、禅定道と呼ばれる登拝道が延びる。

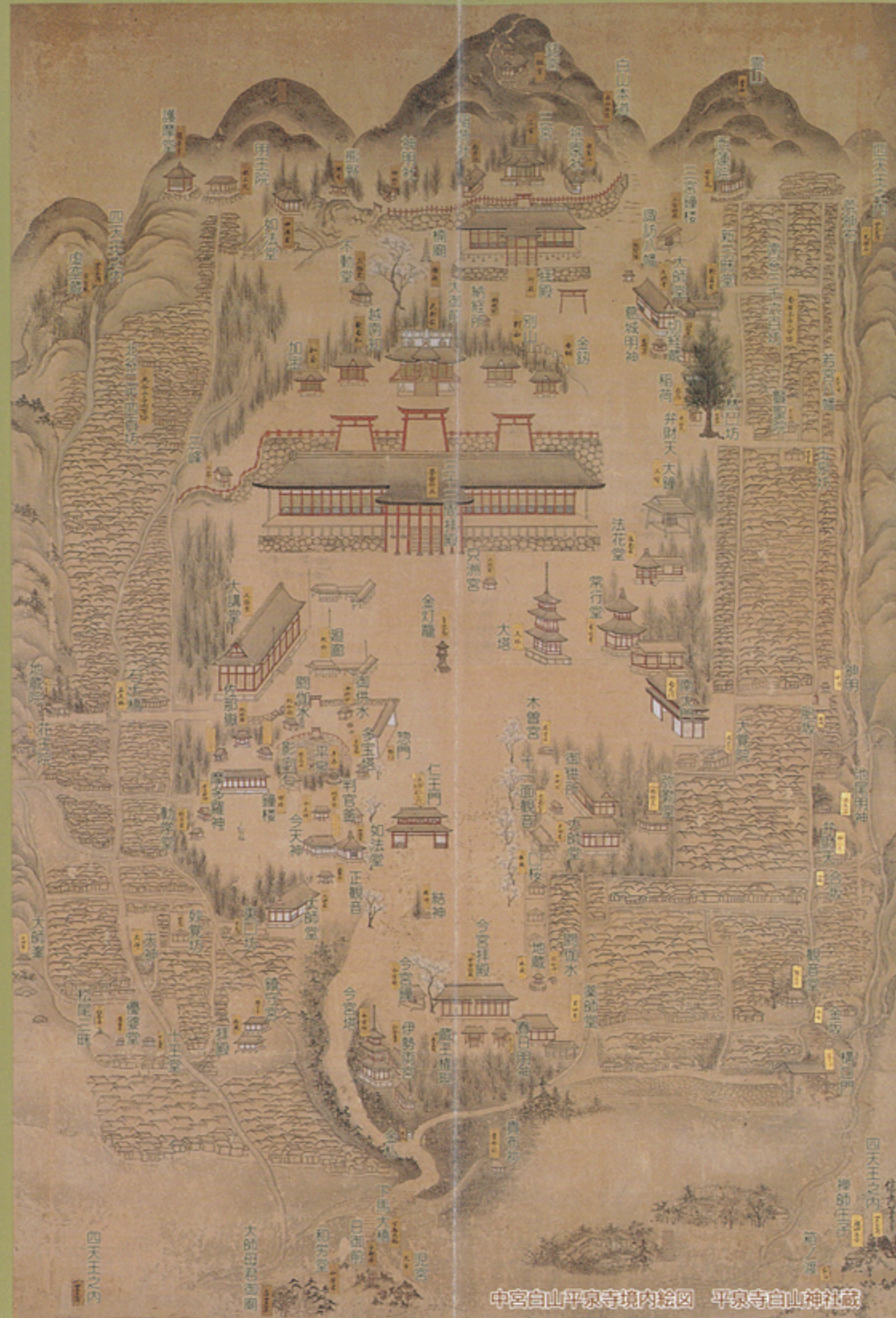
この道を最初に切り開いたとされるのは、白山を開山した越前の僧泰澄である。



平泉寺と四至内

平泉寺の四至（四方の境界）内は、南東の荒神石、北東の虚空蔵、北西の比島観音、南西の禅師王子を結ぶ一辺一里四方とされる。

この四至内には、県下最大の河川である九頭竜川と勝山の中心部が含まれる。



中宮白山平泉寺境内絵図 平泉寺白山神社蔵



平泉寺上空写真



中世の平泉寺概要図

平泉寺は三頭山から南西側にのびる尾根上に中心伽藍を配置し、その両側の谷に六千坊と呼ばれる僧侶の住居群を配置していた。中世の境内は東西1.2km、南北1kmの範囲に広がり、平地部と境内を結ぶ参道はおよそ1kmであった。